

株式会社 横浜熱利用技術研究所 保有特許一覧

2017年(平成29年)12月

国内出願

注:株式会社横浜熱利用技術研究所を「浜熱」と略記しています

整理番号	Status	出願国	出願人	出願番号	基礎出願日	登録番号	用途
YHUT0001	登録	JP	渡邊 琢昌 (浜熱社長)	特願2009- 281860	2009/12/11	4801197	マイクロ～ 小型EV
発明の名称:電気自動車用防曇・空調システム							
概要	走行中、車室内空気をデシカント材(高分子収着剤)へ導き、低湿・高温化した空気をウインドウへ噴射して防曇する。デシカント剤(吸湿材)再生は、原則として充電時の外部電力使用。 特記事項:国内権利は解放。海外は、中国、米国、EPにて権利化						
YHUT0002	登録	JP	渡邊 琢昌 (浜熱社長)	特願2010- 207334	2010/9/15	5741895	マイクロEV
発明の名称:電気自動車用防曇・空調システムの受電装置							
概要	後付けのデシカント防曇・暖房装置への給電端子を車室内に設置して、停車時に家庭用電力のコンセントから、電力を受電して簡単に除湿材の再生を行える構成とした。						
YHUT0003	登録	JP	浜熱	特願2011- 091604	2011/4/16	5783558	EV全般
発明の名称:自動車用空調装置							
概要	車室内空気を除湿材へ導く前に、外気と熱交換させ低温化(高相対湿度化)後にデシカント材へ導くことで、(冬季の運用では)より多くの水分吸湿が可能となった。						
YHUT0004	みなし 取り下げ	JP	浜熱	特願2012- 100495	2012/4/25		EV全般
発明の名称:電気自動車等の車内調湿装置							
概要	車載のバッテリーや電力変換装置へ外気を導き、これらを冷却して温度上昇した外気を、除湿ユニットへ導き、除湿材を再生する構成として、デシカント材の再生に用いる電力等のエネルギー低減を行う。						
YHUT0005	登録	JP	浜熱	特願2012- 126628	2012/6/2	5522550	中～大型 EV
発明の名称:電気自動車等の空調装置							
概要	車載される圧縮式HPサイクルの蒸発器表面に高分子収着剤を担持することでHPサイクルを高効率化すると共に、低容量のHPであっても十分な冷房、暖房、除湿性能を確保する。						
YHUT0006	登録	JP	浜熱	PCT/JP2011/ 070335 特願2012- 532995	2010/9/9 2010-202201	5887644 2016/2/26	EV全般
発明の名称:電気自動車用防曇・空調システム、除湿ユニット、除湿カセット、及び除湿部材							
概要	空調システムを有する電気自動車であつて、カセット型のアフカブを使用する除湿ユニットを併設し、除湿ユニットを一定時間起動して除湿を行った後に空調システムを起動させることで、乗員乗車時の窓の曇り発生を防止する。また、吸湿後のカセット型を再生済カセットと交換することで連続運転時の防曇を達成する						
YHUT0007	登録	JP	浜熱	特願2012- 205037	2012/9/18	6131439	EV用充電 スタンド
発明の名称:電気自動車等の充電設備							
概要	急速充電設備などの電装品の冷却空気を使用してEV搭載の除湿材(カセットタイプ)を再生する。これにより、EV充電時の除湿材再生とバッテリー充電が同時に実施される。						
YHUT0008	登録査定	JP	浜熱	特願2013- 122276	2013/6/10	申請中	家庭用
発明の名称:除湿装置							
概要	高分子収着剤を円断面柱状に巻回して筒状体内に固定し、下方から通風させることで室内を乾燥する。再生は、屋外での太陽光やドライヤーにて実施し、冬季の室内を快適状態とする。						

注:株式会社横浜熱利用技術研究所を「浜熱」と略記しています

整理番号	Status	出願国	出願人	出願番号	基礎出願日	登録番号	用途
YHUTB001	登録	JP	新日本空調(株)	特願2006-161173	2006/6/9	4393478	全熱交換可能な換気装置
発明の名称: デシカント換気システム							
概要	軸芯回りに回転可能に支持された水分吸脱装置(表面に高分子収着剤を担持)を配置し、所定時間毎に軸芯回りにほぼ90度回転させることにより、給気流路Sと排気流路Eとを交互に切り換えることで、連続した室内への給気と室内からの排気が保有する全熱(顕熱、潜熱)の交換を可能とした。						
YHUTB002	登録	JP	新日本空調(株)	特願2006-110396	2006/4/13	4892271	全熱交換器を備えた
発明の名称: 空調システム							
概要	全熱交換方式の換気装置と室内空調機の双方の運転を制御することで、空調機の電力消費を低減すると共に室内の温度・湿度を変動させて快適状態を形成する。特に、全熱交換を行う換気装置は、高分子収着剤を担持したブロック型デシカントを一定時間ごとに軸芯回りに一定角度回転させることで吸湿と放湿を切り替える構成としている。						
YHUTB003	登録	JP	新日本空調(株)	特願2007-153611	2007/6/11	5089254	ドライアイ対策を行うカーエアコ
発明の名称: 自動車用調湿空調システム							
概要	カーエアコンと、流通空気除湿や加湿を行うデシカントを組み合わせ、外気及び/又は車内空気を調湿した後、供給空気として車内へ供給する際にドライアイ防止のための高湿度空気を車内へ供給することを可能とした。						
YHUTB004	登録	JP	新日本空調(株)	特願2005-372823	2005/12/26	4873950	外気の除湿と有害ガス除去
発明の名称: 自動車空気清浄化システム							
概要	空気中の水分を吸着する除湿材と空気中の有害ガスを吸着する吸着材を内蔵するフィルター部と、空気の冷却又は加熱を行う蓄熱部とを備えた給気・排気装置で、フィルター部を通過した外気を蓄熱部を経由した後に車内へ供給する給気モード運転と、蓄熱部を通過した車内空気を車外へ排気するとともに、自動車の稼働装置部から排出された高温排気をフィルター部を経由して車外へ排出する排気モード運転とを交互に繰り返し行うようにした。						